



## ～文化遺産を訪ねて歩こう!!～

4月号から来年3月号までの上尾歴史散歩は、『あげお歴史探検マップ』をもとに、市内の文化遺産を訪ね歩く市内の散策コースを紹介します。4～6月は、大谷地区周辺のコースを巡ります。

円墳状になっている戸崎の浅間塚

4月  
5月  
6月

今に伝わる祈りの文化

7月  
8月  
9月

荒川周辺に花開いた文化

10月  
11月  
12月

人と文化が繋いだ町

1月  
2月  
3月

街道に刻まれた歴史



### 大谷周辺の村々の祈りを抜けて

今回は、上尾市域の南端に近い地域をぐるりと回って、JR上尾駅に戻る。

堤崎の「愛宕神社」⑥を後にして東に進み、県立上尾南高校の前を道に沿って歩いていくと、「西光寺」⑦に到着する。西光寺の本尊は、市指定文化財「木造阿彌陀三尊立像」である。中央に中尊である阿彌陀如来、両脇に脇侍である観音菩薩、勢至菩薩が立つ。制作年代は鎌倉時代と考えられており、平安時代末期より広まった阿彌陀信仰を伝える貴重な文化財である。

西光寺を出て南側に進むと、すぐに大宮花の丘農林公苑の入口がある。公苑の中を進むと秋葉神社(さいたま市西区)に通じており、秋葉道と呼ばれる旧道に出る。東側に目を向けると、道の端に「浅間神社」⑧の鳥居がある。鳥居をくぐると、市指定有形民俗文化財「戸崎の浅間塚」が姿を現す。高さ4.8m、直径25mにも達する市内で最大の浅間塚である。浅間塚は富士塚とも呼ばれ、富士山を模して造られている。この塚に登ることで、富士山に登ったことと同じ効果があるといわれている。上尾市

を含む埼玉県東部や群馬県東南部・栃木県南部など、一部地方の浅間塚では、毎年7月1日に赤ちゃんを連れて参拝する「初山」行事が行われている。

県立中央高等技術専門学校から、旧戸崎村の鎮守である氷川神社にかけて広がっている雑木林の間を通り、大谷公民館・大谷支所の側を抜け、ニッサン通りに戻る。大谷本郷の交差点を北側に入ると、明治10(1877)年に、近隣の村の人々の寄付によって建立された「向山不動堂」⑨がある。堂には羅漢などの彫刻が施されており、「向山不動堂彫刻」として市の文化財に指定されている。この彫刻は、旧大谷本郷村に居住した宮大工・山田弥吉によって彫られたものである。弥吉の彫刻は、瓦葺の稲荷神社や鴻巣市の勝願寺、川越市の連馨寺などでも見ることが出来る。向山不動堂から東へ進み、鴨川を渡って「谷津観音堂」①まで戻ると、ゴールのJR上尾駅となる。

次号では、再び舞台を西へ移し、「荒川周辺に花開いた文化」を巡ろう。

(上尾市生涯学習課)